

新地理Bの地域区分について

小 倉 幸 春

地 誌 教 育

地誌は戦前の地理教育においては家長の座にあった。だが戦後新制高校に人文地理科が誕生するとともにいわゆる系統地理が突然地理教育の相続を独占し、地誌は頓死した。以来地誌教育が懐古され、しばしばその復活が要望されたというが、大学入試出題に地誌の内容が断続した。このように庶子的取扱いの地誌教育は、昭和38年度実施の指導要領改訂において、国家と国家群乃至国家と国際関係の内容としてわずかに認知された。大学入試問題にも地誌が公然と罷り通るようになった。ために現場でも地誌教育も無視できなくなった。だが依然として系統地理が正嫡の地位にあって、その従属的立場に置かれていた。

しかし昭和48年度実施の新指導要領は地誌に独立を与えて地理Bとし、系統地理を内容とする地理Aと対等の科目としての扱いを制定した。地誌は高校発足以来25年にして初めて正統性を回復できることになる。修身・公民・武道・習字できえすでに復古を実現しているのに、遅きに失したともいえよう。だが、四半世紀間の断絶は事態を意外に深刻にしている。すなわち若い地理学徒が体系的な地誌教育の経験に乏しいので、中堅の年齢以下の高校地理担当教師にとり新しい地理Bは馴染まない科目であろう。現実には、教育実習にやってくる地理学専攻の大学生は地誌教育が苦手である。国家と国際関係乃至国家と国家群の内容をせいぜい政治地理学的にしか取扱えない。若い現場教師も大同小異のようである。したがって今後の高校地理教育においては、新地理Bという地誌教育をどうするかが大きな課題となるようである。

地 域 区 分

新指導要領は、地理Bの内容の取扱いに当って、世界をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について地誌教育をするように規定している。しかし世界の地域区分については特定していない。ただ高校生の発達段階を考慮して、一般的なまたはそれに近い地域区分をするようにとあるだけである。

地域区分を考えてゆけば地理学乃至地誌学の原論的分野にたどりつく。地域区分には、相対的位置や全体としての独自性に着目して特殊地域へ分けるやり方と、比較法に基づき類型地域を設定するゆき方とがある。さらに地域を設定する観点・指標には、自然的なものとなんとなんがあり、歴史的なものも不可欠である。したがって各種の地域区分が可能であるが、大地域から中小地域への細区分もあり得る。また、一定の観点・指標・手順により地表を組織的に諸地域に区分した場合、諸地域が相互に描き出すいわゆる地域系の構造や機能的組織を考察する必要がある。こうして地域的事象の解明が果されるのである。

現実には地域区分を行なうことはいわば技術的な問題である。今までに発表されている多くの地域区分について、理論的な吟味よりもむしろ直観的な便宜の方法によって行われているものが多く、とくにそのことは大地域の区分に関して著しい。海陸の配置や気候などの自然的な地域性が大地域を決定するとしていたり、政治的な境界もまたその明確さのゆえにしばしば大地域の区分のための境界として利用される。したがって大地域の区分において自然的な要素が重視さ

れることは、理論的にはなく、現実的にそして便宜的には十分に妥当性が認められる。ただしこれを中地域に区分する場合にももっと別な要素の影響力が表面に現われてくる。具体的には国家・民族の分布、開発の程度などがこの段階において地域区分に大きく関与する。ともあれ理論的には一貫性が多少欠如しても、ある地域区分による各地域をできるだけ総合的にみて、その地域の地理的な諸要素が因果関係で結合されていることを明らかにし、そのいわゆる地域性を明かにすることが地理学乃至地誌学の本質であるとする議論が有力である。

註 木内信蔵・西川治編、地理学総論（朝倉地理学講座）朝倉書店（昭43）の諸論文を参考にした。

新地理Bの地域区分

地域区分の問題は、地理学においてはともあれ、高校地理教育においては、多分に教育方法上の技術的・便宜的観点から考察されてよいと思われる。新地理Bの教科書において世界の諸地域は古典的な六大州となると予想できる。この六大州区分は、伝統的地理概念であり、他の地域区分に一長一短がある以上、販売策としては手固いといえる。だがこの区分は、実際教育上同一・類似事項の重複の煩雑さが避けられない。やり方によっては平板的・暗記的な内容に墮すおそれがある。地域の本質にふれるような深味のある地誌学習、地理的な見方、考え方をねらうには、いささか疑念が生ずる。

そこで、新地理Bの世界の諸地域の区分についての私案を提出する。その方法として、ケッペンの気候区の地域区分と現国境とに則り、国家領域のおおむね過半を占める気候がケッペンの分類したA気候、B気候、C乃至D気候、E気候のうちいずれに位置するかにより、それぞれ「熱帯諸国」・「乾燥帯諸国」・「温冷帯諸国」・「寒帯諸国」とする。ただし寒帯諸国には非独立国のグリーンランドのみであるから名目だけとする。そしてこの温冷帯諸国は他の2地域に比し過大であるので、この中から「先進諸国」を分離する。この先進諸国は、地域学上の中心地域と縁辺地域の理論を取入れて、アメリカ合衆国、西ヨーロッパのEC6カ国（フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルックス3国）およびイギリス、ソビエト連邦、日本の10カ国とする。世界をこの4大地域に区分する。この区分によれば、ケッペンの乾燥気候の地域より乾燥帯諸国が狭くなる。中央アジアが温冷帯諸国の中国領と先進諸国のソ連領とに含まれ、オーストラリアがその人文活動から温冷帯諸国に属させるのが妥当であり、両アメリカ大陸の乾燥気候区は各湿潤気候に位置する国家の一部領域に過ぎないからである。

つぎに中地域の設定であるが、熱帯諸国は熱帯アフリカ・熱帯アメリカ・熱帯アジアに3分する。乾燥帯諸国は中近東および北アフリカ・南アフリカに2分する。温冷帯諸国は、東アジア・新大陸諸国・ヨーロッパに3分する。先進諸国は、アメリカ合衆国・西ヨーロッパ・ソビエト連邦・日本に4分する。

すなわち、世界を4大地域12中地域に区分する案である。変更案として、南アフリカを熱帯アフリカに含める方がよいとの考えもできる。また、先進諸国を温冷帯諸国に包含し、ヨーロッパの中核地域としての西ヨーロッパおよびソ連、東アジアに含めての日本、新大陸諸国に含めての米国という取扱い方ができる。あるいはこれら変更案の方が実際に重複がなく能率的かつ効果的な学習が進められよう。ただ地域系の考察を強調するため先進諸国の地域を設定しようとするのであるから、この目的が達成される工夫が配慮されておれば、この先進諸国という地域は不要である。また、変更案は、六大州区分による教科書しか発行されない場合に、その使用にも比較的面倒が少なく利点がある。

私案の世界4大地域区分は、各地域の特殊性と地域内の類似性から、諸地域の地域性を解明する便宜的手段である。その学習活動の展開はまた別の問題として研究されなければならない。

最後に世界4大地域の地域系の考察の一資料として地域別の統計数値を掲げる。その時期的変化を将来研究するため、やや古いものを選んだ。

地域別主要統計(1967年)

太字は対世界百分比

地域	単位	世界	熱帯諸国	乾燥帯諸国	温冷帯諸国	先進諸国
面積	万Km ²	13,576 100	4,344 32	2,408 18	3,478 25	3,354 25
人口	百万人	3,420 100	1,392 41	214 6	1,044 30	772 23
農牧林業						
大麥	万トン	11,855 100	81 1	565 5	5,336 44	5,873 50
ココア	"	131 100	131 100			
コーヒー	"	419 100	417 99			2 0
繅綿	"	1,032 100	396 38	89 9	180 18	367 35
鶏卵	億個	2,992 100	598 20	85 3	517 17	1,792 60
落花生	万トン	1,718 100	1,061 61	249 14	282 16	126 8
麻生仁	"	239 100	39 16	3 1	88 37	109 46
畜畜						
牛	百万頭	1,235 100	499 40	63 5	411 34	262 21
豚	"	778 100	135 17	2 0	477 62	164 21
羊	"	1,025 100	161 16	187 18	470 46	207 20
玉蜀黍	万トン	26,318 100	4,968 18	1,475 6	6,136 23	13,739 53
乳	"	38,526 100	4,305 11	1,675 4	18,130 47	14,416 38
燕麥	"	5,060 100	11 0	64 1	1,875 37	3,110 61
馬鈴薯	"	30,641 100	927 3	323 1	9,545 32	19,846 64
米	"	27,609 100	14,216 52	458 2	10,275 37	2,460 9
ライ麦	"	3,157 100	17 0	91 3	1,326 42	1,723 55
大豆	"	4,103 100	200 5	9 0	1,174 29	2,720 66
茶	"	114 100	77 68	4 3	19 17	14 12
葉煙草	"	492 100	152 31	35 7	156 32	148 30
小麦	"	32,471 100	1,986 6	2,520 8	12,468 38	15,507 48
羊毛	"	268 100	11 4	26 10	171 63	60 23
原木						
針葉樹	百万m ³	1,010 100	40 4	8 1	342 34	620 61
広葉樹	"	1,090 100	590 54	52 5	207 19	241 22
天然ゴム	万トン	249 100	249 100			
漁獲高	"	6,050 100	1,994 33	182 3	1,955 32	1,919 32
鋳業						
石炭	万トン	191,980 100	7,903 4	5,807 3	48,526 25	129,744 68
亜炭	"	72,220 100	293 0	111 0	47,038 65	24,778 34
鉄鉱石	"	33,980 100	11,900 35	2,010 6	3,483 10	16,587 49
アンチモニー	トン	60,400 100	17,891 30	13,534 22	20,914 35	8,061 13
ボーキサイト	万トン	4,635 100	2,910 63	132 3	584 12	1,009 22
クローム	"	225 100	24 11	112 50	22 10	67 29

地 域	単 位	世 界	熱帯諸国	乾燥帯諸国	温冷帯諸国	先進諸国
銅 鋳	万トン	501 100	211 42	18 3	94 19	178 36
金	トン	1,235 100	29 2	964 78	181 15	61 5
鉛 鋳	万トン	295 100	40 14	12 4	156 53	87 29
マグネサイト	"	1,055 100	38 4	19 2	650 62	348 32
マンガン鋳	"	770 100	237 31	98 13	95 12	340 44
水 銀	トン	8,460 100	698 8	195 2	3,241 39	4,326 51
モリブデン鋳	"	65,670 100	1,614 4		16,466 25	47,590 71
ニッケル鋳	万トン	48 100	10 21	1 2	26 54	11 23
銀	トン	7,200 100	2,928 41	120 2	2,161 29	1,991 28
錫 鋳	"	174,500 100	158,286 92	2,484 1	9,635 5	3,195 2
タングステン鋳	"	36,140 100	3,382 9	33 0	19,448 54	13,277 37
亜鉛鋳	万トン	485 100	62 13	6 1	264 55	153 31
天然ガス	百万m ³	822,400 100	15,812 2	6,373 1	103,150 12	697,065 85
原油	万トン	175,870 100	31,221 18	62,838 35	7,888 5	73,923 42
燐 鋳石	"	9,830 100	2,275 23	1,180 12	145 1	7,230 74
カリ	"	1,563 100		300 19	223 14	1,040 87
石 綿	"	352 100	34 10	43 12	162 46	113 32
ダイヤモンド	万カラット	4,093 100	3,272 80	751 18		70 2
バナジウム鋳	トン	8,910 100		6,413 74	2,497 26	
製 造 業						
肉 類	万トン	7,531 100	453 8	120 2	3,168 42	3,790 50
小 麦 粉	"	10,960 100	460 4	583 5	2,800 26	7,117 85
砂 糖	"	6,678 100	3,040 46	359 5	1,051 15	2,228 34
マーガリン	"	444 100	9 0	26 6	110 25	309 69
オリーブ油	"	144 100		21 15	64 44	59 41
葡萄酒	万ヘクトリットル	28,474 100	8 0	1,307 1	9,994 36	17,175 63
ビール	"	54,520 100	2,978 6	362 1	9,798 18	41,382 75
紙 巻 煙 草	億本	24,020 100	3,112 13	613 3	5,893 24	14,402 60
綿 紡 錘	設備台数	134,216 100	33,797 25	2,611 2	31,748 23	66,060 50
綿 織 機	" , 万	268 100	39 15	10 4	97 35	122 46
レーヨン, アセテート長繊維	万トン	134 100	12 9	1 1	20 15	101 75
同, 短繊維	"	200 100	9 4		52 26	139 70
非セルローズ系長繊維	"	150 100	3 2	1 1	16 10	130 87
同, 短繊維	"	134 100	2 1	1 1	8 6	126 93
製 材						
針 葉 樹	"	28,547 100	731 3	294 1	7,787 27	19,731 89
広 葉 樹	"	8,534 100	2,024 24	66 1	1,669 20	4,775 55
木材パルプ	"	8,512 100	101 1	72 1	3,640 43	4,699 55
新聞用紙	"	1,836 100	20 1	10 1	1,159 63	647 35

地 域	単 位	世 界	熱帯諸国	乾燥帯諸国	温冷帯諸国	先進諸国
紙	万トン	8,578 100	207 2	57 1	1,981 23	6,333 74
合 成 ゴ ム	"	369 100	8 2	2 1	50 23	309 84
窒 素 肥 料	"	2,440 100	98 4	45 2	618 25	1,678 78
プ ラ ス チ ッ ク	"	1,799 100	14 1		193 11	1,592 88
石 油 製 品						
揮 発 油	"	37,290 100	4,430 12	1,166 3	4,219 11	27,475 74
釜 残 油	"	52,440 100	8,188 18	3,425 6	5,640 11	35,187 67
コ ー ク ス	"	30,090 100	956 3	498 1	6,465 21	23,171 75
セ メ ン ト	"	48,300 100	9,496 20	1,951 4	11,417 24	25,356 52
銑 鉄	"	35,680 100	948 3	510 1	6,352 18	27,879 78
粗 鋼	"	49,300 100	1,445 3	508 1	7,951 18	39,396 80
ア ル ミ ニ ウ ム	"	753 100	29 4		182 24	542 72
造 船	"	1,578 100	8 0		414 28	1,156 74
自 動 車						
乗 用 車	万台	1,826 100	18 1		337 19	1,471 80
商 業 車	"	565 100	11 2		116 20	438 78
エ ネ ルギ ー						
生 産	百万トン	5,756 100	584 10	890 18	891 16	3,391 58
消 費	"	5,614 100	420 8	125 2	1,061 19	4,008 71
電 力	億kwh	38,436 100	3,798 10	257 1	7,257 19	27,124 70
貿 易						
輸 入	億ドル	2,271 100	332 14	86 4	658 29	1,195 53
輸 出	"	2,144 100	283 13	114 5	533 25	1,213 57
運 輸						
鉄 道 貨 物	10億トン キロ	4,389 100	207 5	68 2	678 15	3,446 78
使 用 自 動 車						
乗 用 車	万台	16,024 100	587 4	219 1	2,527 18	12,691 78
商 業 車	"	4,388 100	346 8	111 2	1,093 25	2,838 65
商 船 総 数	万総トン	19,415 100	3,821 20	275 2	5,480 28	9,839 50
海 運 貨 物						
積 込 み	百万トン	1,801 100	553 30	422 24	382 21	444 25
積 下 し	"	1,789 100	221 12	51 3	360 20	1,157 65
消 費						
綿 花	万トン	1,140 100	243 21	56 5	306 27	535 47
羊 毛	"	146 100	1 1	4 3	39 28	102 70
鉄 鋼 料	"	48,900 100	1,685 3	852 2	9,701 20	36,662 75
肥 料						
磷 酸	"	1,640 100	121 7	51 3	492 30	976 60
窒 素	"	2,260 100	242 10	64 3	561 25	1,393 62

註 国際連合統計局編，昭和44年日本語版世界統計年鑑から作成。

「乾燥帯諸国」は，アジアにおけるアフガニスタン・バーレーン・キプロス・ガザ地帯・イラク・イラク・イスラエル・ヨルダン・クウェート・レバノン・マスカット・オーマン・モンゴル・サウジアラビア・南イエメン・シリア・トルーシャルオーマン・トルコ・イエメン，アフリカ北部におけるアルジェリア・チャド・イフニ・リビア・マリ・モータリニア・モロッコ・ニジェール・セネガル・スペイン領北アフリカ・スペイン領サハラ・スーダン・チュニジア・アラブ連合，アフリカ南部におけるボツワナ・ナミビア・南アフリカである。

「熱帯諸国」は，アフリカにおいて乾燥帯諸国以外の熱帯アフリカすなわちブルンジ・カメルーン・中央アフリカ・コンゴ・コンゴ民主共和国・ダオメー・赤道ギニア・エチオピア・ガボン・ガンビア・ガーナ・ギニア・コートジボアール・ケニア・レソト・リベリア・マダガスカル・マラウィ・モーリシャス・ナイジェリア・ルワンダ・シェラレオネ・ソマリア・スワジランド・トーゴ・ウガンダ・タンザニア・オートボルタ・ザンビア・アンゴラ・モザンビーク・南ローデシア・ポルトガル領ギニア・レユニオン，南アメリカにおいてボリビア・ブラジル・コロンビア・エクアドル・ガイアナ・パラグアイ・ペルー・ベネズエラ・仏領ギアナ・スリナム，北アメリカにおいてバルバドス・コスタリカ・キューバ・ドミニカ・エルサルバドル・グアテマラ・ハイチ・ホンジュラス・ジャマイカ・メキシコ・ニカラグア・パナマ・トリニダードトバゴ・英領ホンジュラス・バハマ，アジアにおいてブータン・ビルマ・セイロン・インド・インドネシア・ラオス・マレーシア・マルジブ・ネパール・パキスタン・フィリピン・シッキム・シンガポール・タイ・ベトナム・ベトナム共和国，オセアニアにおいてナウル・西サモア・英領ソロモン・フィジー・ニューカレドニア・ニューギニア・ニューヘブリジス・パプア・西イリアンである。

「温冷帯諸国」は，アジアにおいて中国・台湾・北朝鮮・韓国・香港，南アメリカにおいてアルゼンチン・チリー・ウルグアイ・フォークランド，オセアニアにおいてオーストラリア・ニュージーランド，北アメリカにおいてカナダ，ヨーロッパにおいてアルバニア・アンドラ・オーストリア・ブルガリア・チェコ・デンマーク・東ドイツ・ギリシア・バチカン・ハンガリー・アイスランド・アイルランド・リヒテンシュタイン・マルタ・モナコ・ノルウェー・ポーランド・ポルトガル・サンマリノ・スペイン・スウェーデン・スイス・ユーゴである。

「先進諸国」は日本・米国・ソ連・イギリス・フランス・西ドイツ・イタリア・オランダ・ベルギー・ルクセンブルグである。

寒帯諸国はグリーンランドであるが，上表に記載を省略した。

上表の統計について，世界総面積には南極地域の1,312万km²が含まれない。鉱業の生産高においては，金属鉱についておのおの金属含有量を示すが，クロム鉱はCr₂O₃含有量，タングステン鉱はWO₃含有量で示し，またカリはK₂O含有量で示してある。エネルギー生産および消費は石炭換算を以て示す。船舶の製造および商船総数は，単位が総トンである。